No.469

広報 みぶ

10年 6月

種まき風景

ウィークエンド・サークル活動事業

育て、古代の赤米

6月7日、弥生時代に日本に伝わったとされる古代米、赤米（現代米の原種）の田植えが、壬生北小西側の田んぼ（佐藤光徳さん所有）で、菊地肇さん、佐藤光徳さんの指導により行われました。

これは、町教育委員会が小・中学生を対象に土、日曜日を利用して行っているウィークエンド・サークル活動の一つで、“古代米づくり”講座の一環で、赤米の種まきから取り入れまでを発掘調査などから知り得た道具（石包丁など）を再現・利用し、赤米づくりに挑戦します。

この日は、親子連れなど約30人が慣れない手つきで泥んこになりながら、一つ一つ丁寧に植えていきました。

発行　壬生町役場　編集 総務部企画財政課　毎月15日発行　〒321-0292 栃木県下都賀郡壬生町通町12番22号　☎0282-82-1234

状況

（平成10年３月31日現在）

町では、皆さんに町の財政状況を正しく理解していただくとともに、納められた税金や国・県支出金がどのように使われているかを知っていただくため、年２回（６月・12月号広報紙）財政状況の公表をしています。

今回は、平成９年度の下半期（平成９年４月１日から平成10年３月31日）までの収入・支出状況についてお知らせします。

なお、収入支出済額については、３月までに確定した債権債務についての出納整理期間が５月31日まであるため、最終の決算額ではありません。

歳出

（単位：千円：％）

科目	予算額	支出済額	支出率
議会費	161,954	160,188	98.9
総務費	1,495,706	1,084,162	72.5
民生費	1,259,534	1,204,247	95.6
衛生費	2,168,628	808,051	37.3
労働費	23,431	21,478	91.7
農林水産業費	503,451	280,669	55.7
商工費	237,157	229,720	96.9
土木費	2,948,445	1,616,868	54.8
消防費	620,883	608,722	98.0
教育費	1,236,931	1,122,231	90.7
災害復旧費	12,802	10,638	83.1
公債費	1,071,176	1,071,176	100.0
諸支出金	20,561	20,559	100.0
予備費	18,289	0	0
合計	11,778,949	8,238,709	69.9

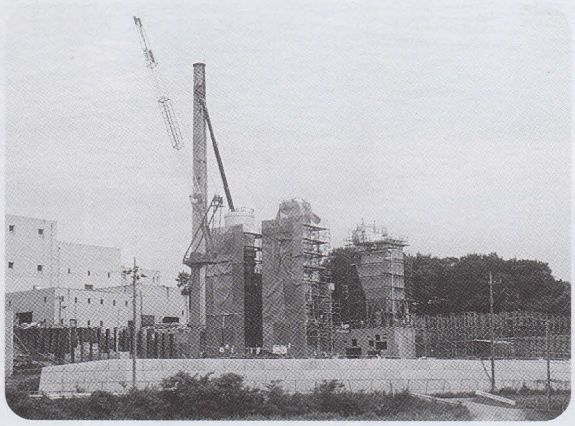
一般会計概要

平成９年度の一般会計当初予算は、１１１億円でしたが、その後、４回の補正予算を組み、当初に比べ6.1％増の１１７億7,８９４万９千円となりました。

平成10年３月31日現在の収入済額は、９８億7,１８８万５千円で歳入予算額の８３.８％にあたります。

また、支出済額は、８２億3,８７０万９千円で、歳出予算額の６９.９％となっています。

その他の詳細については左表のとおりです。



増大するゴミと各種公害防止に対処した工事の進むゴミ焼却施設（厚生年金・国民年金積立金還元融資施設）

税の負担状況

（単位・円）

一人あたり 110,021円

町民税	固定資産税	軽自動車税	町たばこ税	都市計画税
44,595	51,695	920	5,144	7,667

一世帯あたり 346,772円

町民税	固定資産税	軽自動車税	町たばこ税	都市計画税
140,561	162,932	2,900	16,213	24,166

（平成10年３月末　人口 39,987人　世帯数 12,687人）

身近な「みどり」から地域の「みどり」へと、「みどり」づくりを担う人の輪を大きく広げていく“ふれあい広場”『わんぱく睦っ子の森』

平成9年度 下半期 町の財政

特別会計 下半期執行状況

国民健康保険

予算額　23億2,412万9千円

収入済額　22億3,126万円

支出済額　19億3,638万4千円

公共下水道事業

予算額　17億4,355万4千円

収入済額　8億1,402万6千円

支出済額　11億6,497万9千円

（収支の不足額は、一般会計から運用しました）

奨学資金

予算額　174万5千円

収入済額　153万8千円

支出済額　153万1千円

老人保健事業

予算額　27億3,943万1千円

収入済額　23億5,873万7千円

支出済額　22億4,735万1千円

農業集落排水事業

予算額　13億8,736万1千円

収入済額　6億4,504万2千円

支出済額　6億5,705万7千円

（収支の不足額は、一般会計から運用しました）

一般会計　歳入・歳出の状況

歳入

（単位・千円：%）

科目	予算額	収入済額	収入率
町税	5,025,184	4,853,904	96.6
地方譲与税	219,470	224,961	102.5
利子割交付金	58,000	58,607	101.0
地方消費税交付金	110,000	84,893	77.2
ゴルフ場利用税交付金	55,000	56,972	103.6
特別地方消費税交付金	1,500	1,424	94.9
自動車取得税交付金	150,000	137,074	91.4
地方交付税	2,400,825	2,452,389	102.1
交通安全対策特別交付金	10,000	10,660	106.6
分担金及び負担金	102,004	97,180	95.3
使用料及び手数料	159,475	158,720	99.5
国庫支出金	782,202	633,314	81.0
県支出金	410,366	355,127	86.5
財産収入	267,479	220,628	82.5
寄附金	63,602	63,600	100.0
繰入金	207,239	1,814	0.9
繰越金	322,559	322,559	100.0
諸収入	125,944	138,059	109.6
町債	1,308,100	0	0
合計	11,778,949	9,871,885	83.8

水道事業

収益的収支

予算額　5億　699万8千円

事業収益　5億2,793万5千円

事業費用　4億9,485万1千円

資本的収支

予算額　4億9,829万円

資本的収入　3億2,605万2千円

資本的支出　4億9,085万9千円

（資本的収支の収入額が支出額に対して不足する額は、過年度及び当年度損益勘定留保資金、当年度消費税収支調整額、建設改良積立金で補てんしました）

空き缶やゴミのない きれいな町をめざし

7、600人が参加し ゴミゼロクリーン作戦を展開

5．34トン。これは、5月30日（ゴミゼロの日）を中心に、皆さんのご協力により実施された、環境美化キャンペーン時に集められたゴミの量です。

美化キャンペーンには、自治会をはじめとして、各種団体など延べ7，613名の方が参加、道路や公園などの空き缶拾いや清掃などに汗を流しました。

また、〝拾う心も大切ですが、捨てない心をもっと大切にしよう〟と、壬生小学校の児童も参加、通学路沿いの公園などの美化活動を展開しました。

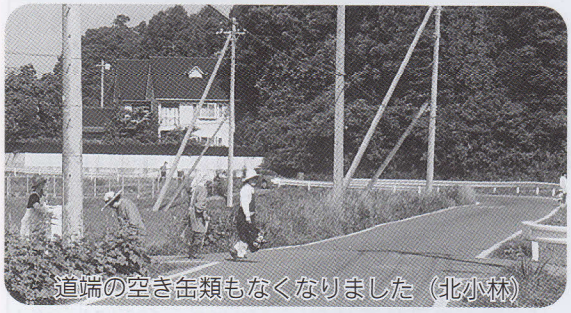
このように、皆さんの力が結集され、大きな成果を上げることができました。これからも「まあいいや」という、軽い気持ちを無くし、ゴミのないきれいなまちづくりにご協力ください。

ここで、皆さんの活躍の一部を写真で紹介します。

収集実績

◎延べ参加人数		7,613人
☆収集量		5.34トン
（内訳）	＊空き缶類	20,100個
	＊その他	3.51トン

活動の成果（集められたゴミ：台宿）


道端の空き缶類もなくなりました（北小林）

路肩の雑草もきれいに（いずみ）

各種団体が参加してキャンペーンを展開

学校に集められた通学路沿いに落ちていたゴミ（壬生小学校）▼

▲地域の公民館を清掃する壬生小生（下表町）

舟町通りの清掃（舟　町）

駅前広場もきれいに（駅　東）

水難事故から身を守るために

これから学校や各地の行楽地ではプールや海開きを迎え、本格的な水のシーズンが始まり、夏休みを控えた子どもたちにとっては、うれしい季節の到来です。

しかし、川や海で水に親しむ機会の多くなるこの季節は、水の事故が多くなる季節でもあります。

昨年、県内の水の事故は13件発生し、10名の方の尊い命が失われています。13件中9件（約70％、左下表参照）が、7～8月中に起きています。子どもが関係する事故は、川で水遊び中に溺れた事故が1件でしたが、子どもの事故は、保護者が目を離したほんのわずかな隙に発生するため、油断は禁物です。

このような悲劇が起こらないようにするには、どうしたらよいでしょうか。

お父さん・お母さん 子どもを守るのはあなたです

肝心なことは、子どもたちだけで水辺に近づかせないということです。海や川はもちろん、大人なら何でもないような水たまりなどでも事故が起こることがあります。

もし、子どもを水辺で遊ばせるときは、必ず、大人が一緒について行きましょう。

下記のような事をしっかりと守り、水の事故に十分注意して楽しい夏を過ごしましょう。

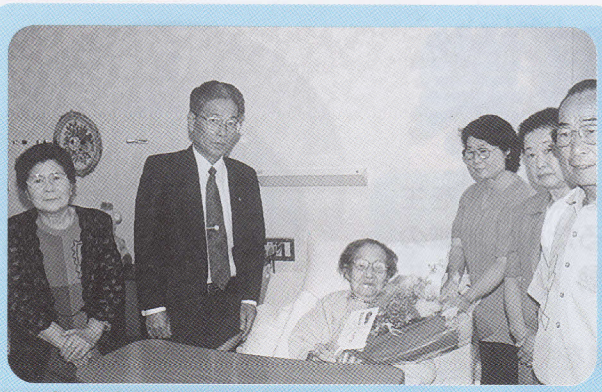
平成９年　７・８月の水の事故発生状況（場所・行為別）

		場所						行為									計（平成８年比）
		河川	湖・沼	プール	用水堀	貯水槽	その他	水泳中	ボード遊び	水遊び	魚取り	通行中	作業中	水難救助	陸上遊戯	ウィンドサーフィン	
7月	件数	1	2		1					1		1				2	4件(+3)
	死者数		2		1							1				2	3人(+3)
8月	件数	3			2						4	1					5件(+3)
	死者数	2			2						3	1					4人(+2)

（資料：栃木警察署）

《水の事故を防ぐために》

◇幼児を連れて川や池で水遊びをするときは、絶対に目を離さない
◇小学生だけで水遊びや魚取りに行かせない
◇危険な場所で水遊びや魚取りをしている小・中学生を見かけたら声をかける
◇危険な川や池に幼児を近づけない
◇水上レジャースポーツはしっかりとした指導者のもと、救命胴衣などの安全装備をつけて行う
◇家庭で自宅付近の危険個所について話し合い、水の事故への関心を高めましょう



町内最高齢の和貝ハナさん

102歳の誕生日を祝う

１０２歳の誕生日を迎えた、町内最高齢の和貝ハナさん（明治29年５月14日生まれ・中表町）のもとに５月15日、毛塚収入役、町福祉課の職員が訪れ、花束と特別敬老金を贈り長寿を祝いました。

この日ハナさんは、少し体調を崩されお休みになっていましたが、親族の方に囲まれ、にこやかに祝福に応えていました。

税の広場

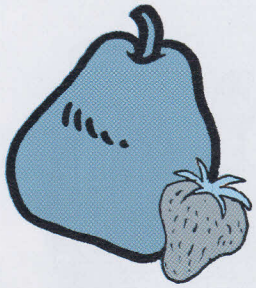
にせ税務職員及び不良業界紙にご注意を

最近、「税務指導及び記帳指導にきた」「税務署の方からきた」などと話し、税務職員と思わせて税務関係の出版物を売りつけたり、入会金、研修会費あるいは購読料を要求する悪質な出版社等のセールスマンが横行しています。

税務署では、出版物の訪問販売は一切、行っておりませんし、税務職員が納税者のお宅に伺う場合は必ず身分証明書を持っています。

「おかしいな…？」、「変だな…？」と思ったら、身分証明書の提示を求めるか、栃木税務署（☎22―0885）へお問い合わせください。

ルネッサンス事業



町では、農業・農村の持つ美しい自然や景観、貴重な伝統文化を生かして、誰からも愛される魅力あるふるさとを創造するため、地域の主体性と創意工夫を基本とした個性あるむらづくり運動「ふるさとルネッサンス」を推進しています。

ここでは、昨年から最近にかけて行われた、主な事業を紹介します。

美しい"みぶ"の農村『景観コンテスト』

村づくりの心を高める"美しい農村"の写真を募集する『景観コンテスト』が行われ、応募作品の中から、最優秀賞1点を含む14点の作品が選ばれました。

表彰式は、3月30日に役場庁舎で行われ、受賞者の方々には表彰状と賞金が贈られたほか、応募者全員に、栃木米『晴れ姿』が進呈されました。

最優秀賞「尼恋塚『あかね』」豊田省子氏（おもちゃのまち）

受賞者のみなさん

受賞者名（敬称略）

優秀賞	「晩秋」	伊藤　清	（緑町三丁目）
	「収穫の喜び」	江草　保幸	（駅　東）
	「姿川冬景」	川原田忠司	（緑町三丁目）
入　選	「太々神楽」	大栗　一成	（国谷新田）
	「梨園－雪－」	宮本　さち	（若　草）
	「ふれあい市」	新井　正	（下横町）
	「稲刈り」	新井　正	（下横町）
	「どんど焼き」	赤羽根順子	（中　央）
	「農婦」	渡邉　廣壽	（駅　東）
	「男体に抱かれて」	江草　保幸	（駅　東）
	「耕作地」	鈴木　イト	（旭　町）
	「ソバ畑」	川又　康治	（緑町一丁目）
	「待春の水辺（小藪川）」	早乙女　正	（松　原）

「わんぱく睦っ子の森」オープン

減少する町内の平地林の活用・保全事業の一環として、緑とふれあい、くつろげる広場「わんぱく睦っ子の森」が、六美町にオープンしました。

これは、獨協医科大学が所有する土地を借り受けた町が、花壇やベンチなどを設置し、整備を進めてきたものです。

4月25日に行われた記念式典で清水町長は、「緑の中で遊び、ふれあう中で自然と共生する心を育ててほしい。」と述べました。

メッセージ付きの風船を飛ばす

テープカット、くす玉割りなどに続いて、むらづくり各種団体による赤飯・苗木などの無料配布が行われ、広場は近くの睦小学校の児童や親子連れなどでにぎわいました。

なお、無料配布の際、同時に募ったチャリティーの益金が、睦作業所に寄付されました。

「睦っ子の森」を入口よりのぞむ

オオシマザクラの記念植樹

個性と魅力あるふるさとづくり

ふるさと

ふくべの里フェスティバル

レンゲ祭り

レンゲソウの花が最盛期を迎えた5月10日、壬生高等学校東側に広がる面積約1ヘクタールのレンゲ畑に囲まれた会場でふくべの里フェスティバル実行委員会主催の「ふくべの里フェスティバル・レンゲ祭り」が開かれました。

会場では、野菜や漬物などの即売、焼肉、豚汁など盛りだくさんの無料配布コーナー、子ぶた・ひよことのふれあいコーナーなどが設けられ、おっかなびっくり子ぶたにふれる子どもたちや、レンゲ畑の中で遊ぶ親子などでにぎわいました。

また、特設ステージではカラオケ大会や、藤井小学校の児童によるかんぴょう踊りが行われ、集まった人々は、一面のレンゲ畑の中で、のんびりと自然を堪能していました。

藤井小児童によるかんぴょう踊り

ぶたさんの手ざわりは？

資料館コーナー

壬生の偉人・義人たち（十三）

漆芸家、日光堆朱最後の伝承者

人見　城民（ひとみ　じょうみん）

1894年（明治27年）～　1972年（昭和47年）

農業を営む善吉の三男として生まれました。本名は与四郎。壬生尋常高等小学校（壬生小学校）卒業と同時に、日光堆朱二代目上野桐恵のもとに内弟子として入門し、16年間日光彫と漆の修業をしました。

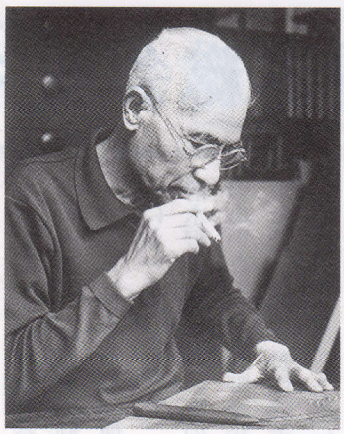
独立後は、日光堆朱三代目を継ぎ「笑友」と号しましたが、壬生の城下に生まれたところから「城民」と改号し、東京平和大博覧会、共進会、全国美術工芸展などに出品を続け、漆芸家として活躍しました。また、大正年間には二度の皇室献上品制作を賜りました。

その後、1938年（昭和13年）に技術保存のため商工省（通産省）監査官により工芸品制作を許されるなど、その技術は高く評価されました。戦後は、栃木県芸術祭委員などに選任されるとともに、日本伝統工芸展、日本伝統新作展に出品し入選を果たしました。

なお、1920年（大正9年）頃から浮き彫りの上に顔料を混ぜた漆を塗り重ねていく技術を開発し、「木堆朱」と名付け日光堆朱を伝統工芸の域にまで高めました。この道一筋に工芸振興に尽くしたことにより、1960年（昭和35年）栃木県文化功労章を受賞しました。

1972年（昭和47年）10月78歳で没しました。

なお人見城民先生の作品は8月23日（日）まで、資料館記念室にて、展示しています。



人見城民氏

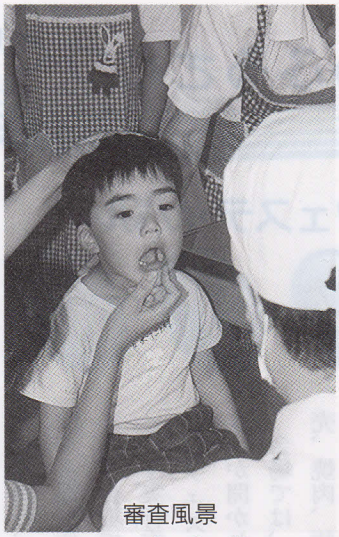
三歳児よい歯のコンクール

5名のよい子が決定

町では、6月の歯の衛生週間にさきがけ、幼児のむし歯予防などの啓蒙を図るため、毎年「三歳児よい歯のコンクール」を実施しています。

今年は5月21日に、町保健福祉センターにおいて、前年の3歳児健診を受けむし歯のない幼児123名を対象に、むし歯の有無のほか口腔内の状態など、全体的に審査を行い、次の5名が選ばれました。

また、上位2名は町代表として県のコンクールに推薦しました。


審査風景

審査結果（敬称略）

最優秀　古槇　柚香　若草町1―7―203

優秀　新村　祥平　安塚337―7―2

優良　篠原　弘樹　あけぼの町13―5

〃　髙松　瑞季　駅東町19―13

〃　亀田　卓裕　元町15―43

寄付

社会福祉の充実のために

故青木イシさん

5月15日、4月24日に92歳で亡くなられた青木イシさんのご遺族青木信也さん（城南在住）より「社会福祉の充実のために」と、50万円の寄付がありました。

これは、生前イシさんがボランティア活動などに関心が強く、この度、故人の遺志により寄付されたものです。

安塚商店会

チャリティー相撲の益金を寄付

安塚商店会（阿部博章会長）では、4月に大相撲・伊勢の海部屋の力士を招いて、役場南犬飼出張所前で行われたチャリティー相撲の益金を交通安全に役立ててほしいと、5月20日に役場庁舎を訪れ、町の交通安全協会役員立ち会いのもと、町へ寄付しました。

町、町交通安全協会では、寄付金を交通安全対策のために有効に利用していきます。

壬生郷友会

郷里で春季総会開く

会員相互の親睦と郷土の発展に寄与することを目的に、東京又は東京周辺に在住する壬生町出身者などで組織する壬生郷友会(石崎達会長)の平成10年度春季総会が5月31日、郷里の壬生町で開かれました。

この日は、おもちゃ博物館などを見学した後、町内において総会に移り、石崎会長のあいさつに続き、清水町長から最近の町の状況についての説明と歓迎のあいさつ、松井町議会議長の歓迎のあいさつと続いた後、佐藤　勉代議士も参加し懇親会に入り、なごやかなひとときを過ごしました。

また総会には、壬生に特に関係の深い、鳥居恭子さん、高須信昌さんも特別に参加されました。

壬生郷友会では、会員を募集しています。申し込み問い合わせは、次に、ご連絡ください。

◎壬生郷友会連絡先

東京都大田区萩中一丁目―9―18

富田　志麻　方

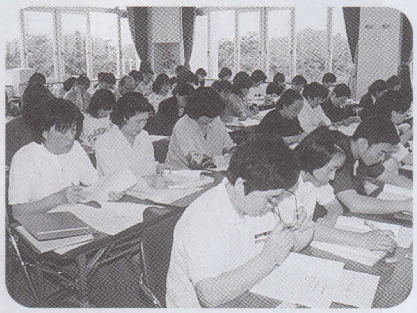
ホームヘルパー養成研修会開く

町では、在宅福祉サービスの中核となるホームヘルプサービスのより一層の充実を図るため、ホームヘルプサービスの担い手となるホームヘルパー養成（3級課程）研修会を5月12日、社会福祉法人栃の木会（関　裕子理事長）の協力を得て、特別養護老人ホームしもつけ荘を主会場に開きました。

これは、ホームヘルパーが、高齢者、身体障害者、心身障害児及び難病患者の介護ニーズに対応した適切なサービスを提供することができるよう、資質と技術の向上を図るため、国の定めるホームヘルパー養成研修事業の指定を受け行うものです。

研修会には52名が参加、この日からホームヘルプサービスなどについての講義を25時間、医療や介護技術などの実技・実習を25時間の計50時間を9日間にわたり学び、最後に3日間の介護サービス実習のボランティアが予定されています。

開講式であいさつされる関理事長


講義にのぞむ受講者

すこやか子育て支援制度
"すこやかベビー・ご家族"紹介

町では、少子化時代に子育てを行う両親への支援策として、第3子以降のお子さんを養育する方に「すこやか子育て支援金」を交付していますが、この制度の対象になられました"すこやかベビー"に登場願いました。

林　菜奈実ちゃん

荒川智香ちゃん姉妹とお母さん

松田訓凱ちゃん兄弟とお母さん

ヴァイオリン
千住真理子

オルガン
井上　圭子

ピアノ
仲道　郁代

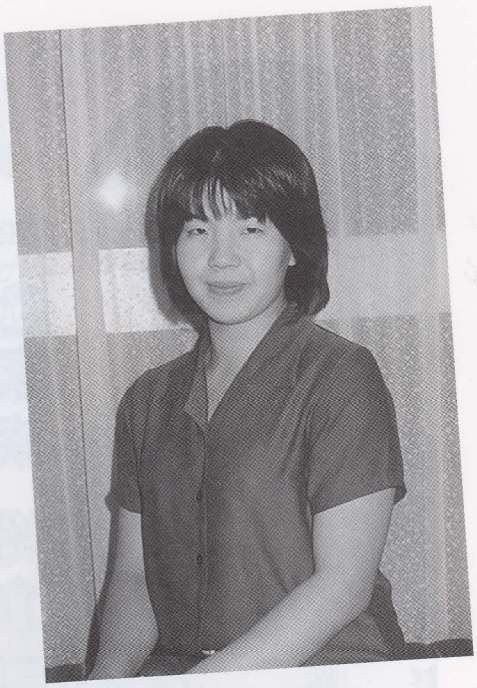
スロヴァキアの弦の達人たちによる名曲の花束
そして美しきソリストたちと彩やかなコンサート

スロヴァキア室内オーケストラ

◎日　時　9月20日（日）PM6:00開場
PM6:30開演
◎会　場　壬生中央公民館大ホール
（城址公園ホール）
◎入場料　3,000円（全席指定）
※入場券は、壬生中央公民館、稲葉・南犬飼出張所、財団法人壬生町施設振興公社事務所（総合公園内）において取り扱っています。
（未就学児の入場はできません）
◎主　催　財団法人壬生町施設振興公社
◎後　援　壬生町教育委員会
◎問合せ先　壬生中央公民館 ☎82－0108

い広場

青春スケッチ 85



子どもたちにピアノを教えたい

上田　細井　裕恵さん

「小さい頃から習っているピアノが趣味で、家で毎日弾いています。」という裕恵さんは、特にベートーベンの曲が好きで、コンサートにも出かけるほどのクラシック好きです。

そのほかお菓子作りが趣味で、アップルパイが得意です。

将来の夢は、「子どもたちにピアノを教えること」だそうです。

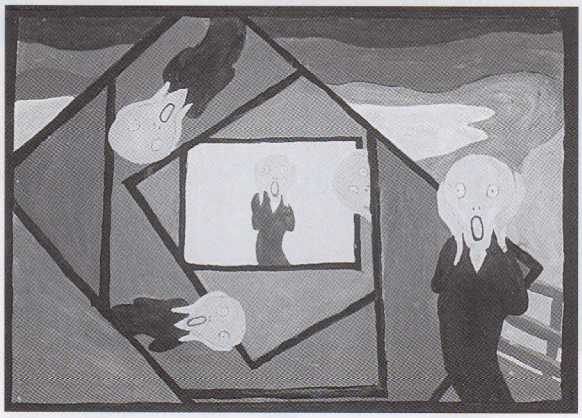
お達者カップル 113

緑町一丁目
高村　七郎さん（８１）
　　ミンさん（７６）夫妻

ふたりで温泉に行くのを楽しみにしているという七郎さん・ミンさん夫妻は、月2回以上は、那須、喜連川などの温泉地に出かけています。

大正6年生まれの七郎さんは、

私の作品



「鏡の世界」
壬生東小学校６年
渡部健史（たけし）

壬生東小学校６年
田中麻紀

ふれあ

鹿沼市の東大芦尋常高等小学校から補習科へ進み、卒業後は実家の農業を手伝っていました。大正11年に生まれたミンさんは、鹿沼市の西大芦尋常高等小学校を卒業しました。

七郎さんは昭和13年に徴集を受け、満州（現在の中国東北部）に渡りました。お二人が結婚したのは、七郎さんが一時帰国していた昭和19年のことで、終戦後の21年に帰国しました。

その後、お二人は日光市に移り住み、七郎さんは市内の精銅所に昭和47年まで勤めました。その年の10月から壬生町に居をかまえた七郎さんは、特定機械検査員の資格を取り、クレーンやエレベーターなどの検査員を10年前までつとめました。

七郎さんは歴史に興味があり、歴史ものの本をよく読むほか、名所旧跡めぐりにも出かけます。壬生に移り住んでからは、町の歴史を詳しく知ろうと、町歴史民俗資料館の古文書会で学んだこともあります。ミンさんは、若いころから続けている和裁を趣味にしています。

お二人とも健康維持のために毎日20～30分の散歩を欠かさないということです。

尾形光琳・乾山名品展開かれる

大ぜいの人で賑わう名品展

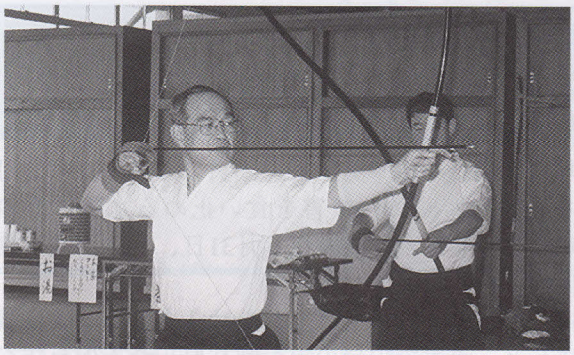
江戸時代の絵・陶芸の大家　尾形光琳・乾山の作品を揃えた「光琳・乾山名品展」が、4月に慈覚大師生誕地の壬生寺で開かれ、大ぜいの人が訪れていました。

光琳・乾山兄弟と壬生町との関わりは、慈覚大師が天皇の即位を願い造賜した観音像が、後に尾形家に贈られたり、晩年の乾山が佐野に滞在していた時に、常楽寺において2カ月余り作陶生活などを過ごしています。

このように壬生町と尾形兄弟は歴史的に関わり深いものと思われ、今回の開催につながったものです。

名品展には、二人の数多くの作品が展示され、訪れた人から感嘆の声が聞こえていました。

なお、開催にあたり、住友慎一氏（東京都在住）、美術史家渡辺達也氏（国谷在住）をはじめ、多数の方のご協力をいただいています。



代射の部優勝の石川洋雄さん

県下弓道鹿沼大会

石川洋雄さん（代射の部）見事優勝

栃木県下弓道鹿沼大会が4月5日、鹿沼市弓道場で行われ、本町から出場した石川洋雄さん（六美）が代射の部で優勝、本射の部で3位入賞とすばらしい活躍をおさめました。

大会には、県内から弓道愛好家180名が参加し、代射の部（点数的）と本射の部（的中本数）に静かな戦いを展開しました。

チビッ子アルバム

琢真（たくま）ちゃん（6か月）

（父）田村　淳一さん
（母）〃　安江さん　（城　南）

お母さんから一言

元気で素直な子に育ってほしい。

「チビッ子アルバム」コーナーのお子さんを募集しています。ご希望の方は、お子さんの写真と簡単なメッセージを添えて町総務部企画財政課広報広聴係（☎82－１２３４　内線212）までお送りください。

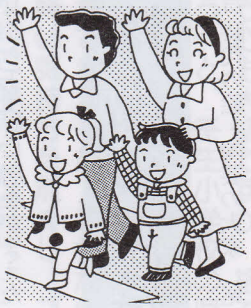
園児交通安全教室

飛び出しはぜったいにしない！

子どもたちに交通ルールを学んでもらおうと5月25日、県交通安全教育センターの交通安全教育車「マロニエ号」による交通安全教室が、とおりまち保育園で行われました。

教室には、町内の保育園から4、5歳児130名が参加、指導員から昔話の「うさぎとかめ」を元にした交通安全の話を聞き、"飛び出しは　ぜったいに　しない"と約束し合いました。

最後に、園庭に作った交差点を使い、青信号になったら「右見て、左見て、右を見て、手を挙げて横断歩道を渡ろう」などと、横断歩道の渡り方を先生に手を取られながら学びました。



横断歩道の渡り方を学ぶ

賑わう、朝市

仲通町商店会

呑龍（どんりゅう）朝市、大ぜいの人で賑わう

"素敵なあなたに会いたいな～"を合言葉に、仲通町商店会（日向野　保会長）主催の「呑龍朝市」が5月24日、興光寺参道で開かれました。

朝市には、新鮮な野菜や花、肉・魚はもとより、商店自慢の商品が並べられ、あっちこっちで威勢の良い売り声が飛び交うなどし、次から次へと訪れる客で賑わいました。

この朝市は、商店会の知名度アップと活性化の一助として、仲通町商店会の約20商店が参加し、今回、初めて開いたもので、これからも継続的な開催を予定しているようです。

また、商店会統一"のれん"の作製なども計画されています。

水害に備え

消防団水防訓練

壬生町消防団（中根幸男団長、団員 203名）では、河川の氾濫などの水害時に、被害を食い止める水防作業の方法・手順を確認する水防訓練を5月31日、羽生田通学橋付近の黒川河川敷で行いました。

訓練は、土のうを積み上げて水をせき止める「改良積土のう工法」と、流水で川岸の土が削り取られるのを防ぐために、重しを付けた樹木を岸に沿って流す「木流し工法」の2つが行われ、今回が初参加の新団員も含めた団員は、快晴の空の下、作った土のうを積み上げたり、重い樹木を岸まで運ぶ作業に汗を流していました。

今年のふれあいプールは7月11日(土)から利用できます

毎年、涼を求めて大ぜいの利用者で賑わう壬生町黒川の里ふれあいプール。

今年は、7月11日(土)から利用できます。

◇利用期間
7月11日(土)～9月6日(日)

◇利用時間
午前9時～午後6時

◇利用料金（一人1回につき）
＊一　般　600円
＊小・中学生　300円
＊ロッカー使用料　100円

◇問合せ先
＊開設期間中
・黒川の里ふれあいプール
☎82－9479
＊期間外
・町教育委員会スポーツ振興課
☎82－2345

国民年金情報

支払通知書が簡略化

年金受給者に対して、年金の支払通知書及び振込通知書は、年金受給者に支払う都度、送付されていましたが、平成10年６月送付分から１年間分の内容をまとめて通知することになりました。

これから毎年６月に、６月定期支払いから翌年の４月定期支払いまでの各支払期における金額、所得税額及び差し引き支払額を事前に通知し、支払額に変更のあった場合は、その都度、変更後の支払額等を通知することとなりました。

なお、平成10年６月定期支払いにおいては、支払い（振込）通知書の裏面に支払い通知書等を簡略化した旨を記載し、周知を図ります。

６月定期支払いから翌年の４月定期支払いまでの間に、65歳到達、支払調整完了等により支払額等が変更となることが予め判明している場合には、支払額等が変更となる支払い月の直前の支払い月までの内容を通知します。

◇簡略化の対象範囲

①国民年金・厚生年金保険支払（振込）通知書
②船員保険支払（振込）通知書（職務上）
③厚生年金保険支払（振込）通知書
④船員保険支払（振込）通知書
⑤国民年金支払（振込）通知書

※郵便局において、現金で受け取る方については今までどおり支払いの度に支払い通知書が送付されます。

◇次の処理が行われた場合は、その都度、支払（振込）通知書を送付します。

Ⅰ．新規裁定が行われた場合。
Ⅱ．物価スライドによる改定以外の事由（年金額変更、支給停止額変更、税額変更等）により支払い額等に変更が生じた場合。
Ⅲ．差止解除または支払い保留解除が行われた場合。

◎問合せ先　町民生部住民課国民年金係
☎82－１２３４内線１１９

白熱した試合を繰り広げる

第15回壬生町バドミントン大会が5月24日、町総合運動場体育館で行われ、男女4部門のダブルスに44チームが参加、スピーディーな白熱した試合が繰り広げられました。

各種目優勝の皆さん

成績

◎男子ダブルスA
優勝　上野・佐藤組
準優勝　石川・田中組

◎男子ダブルスB
優勝　鈴木・藤田組
準優勝　斉藤・中島組

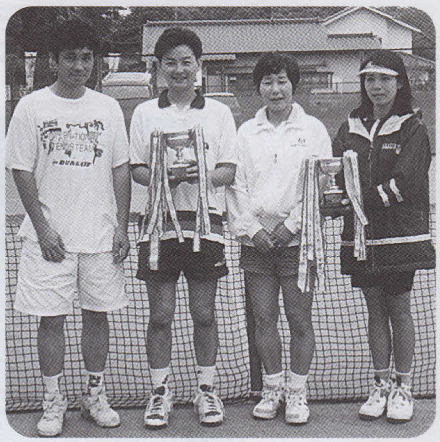
◎女子ダブルスA
優勝　市川・西山組
準優勝　加藤・笹井組

◎女子ダブルスB
優勝　平野・青柳組

ダブルス戦に熱戦を展開

第15回壬生町テニス大会が５月24日、町総合運動場テニスコートで行われ、男子ダブルス22チーム、女子ダブルス21チームの計43チームが出場、息の合った熱戦が展開されました。

成績


男女ダブルス優勝の皆さん

☆男子ダブルス
優勝
高橋・渡部　組
準優勝
植松・中島　組
三位
阿部・中山　組
青木・柏崎　組

☆女子ダブルス
優勝
原子・谷垣内組
準優勝
本田・津吹　組
三位
中村・狩谷　組
鈴木・杉田　組

文芸

文化協会文芸部選

短歌

愛嬌のある一声に呼びとめられ
いらぬ物まで買うはめになる　荒川　綾子

野焼跡若草萠えて陽炎のまぶしく
つづく午后の農道　渡辺真夕美

大吉の御神くじなればほのぼのと
足どりかるく山門を出づ　和久井　香

目の仇に芝生の雑草抜きおれど
次からつぎと生えてくるなり　轟　ノリ

俳句

葉桜や掛ければきしむ古ベンチ　高橋　田鶴

みどりの日無料配布の列につく　鈴木佳世子

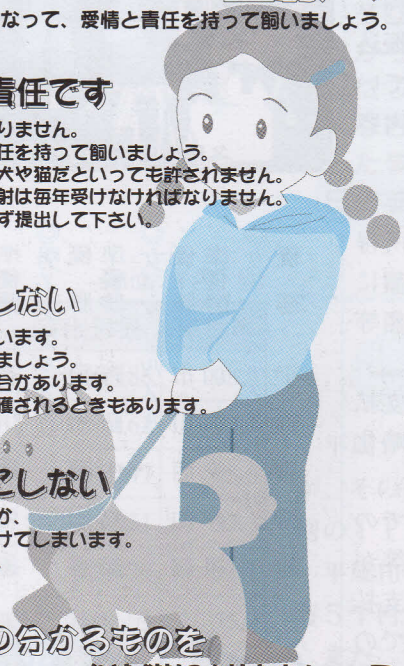
桜餅恋には遠き膝小僧　鈴木　文二

葉桜や遠出の姉妹ローヒール　鈴木　愛子

6月は「正しい犬の飼い方強調月間」です

ペットを飼ってる皆様へ

ペットを飼う以上はそのペットの身になって、愛情と責任を持って飼いましょう。



◎フンの始末は飼い主の責任です

○御近所の人すべてが犬・猫好きとは限りません。
　そんな方々にも理解の得られるよう責任を持って飼いましょう。
○散歩中のフンは必ず始末しましょう。犬や猫だといっても許されません。
○登録は、犬の終生１回、狂犬病予防注射は毎年受けなければなりません。
○死亡や移動等の届け出は保健課まで必ず提出して下さい。

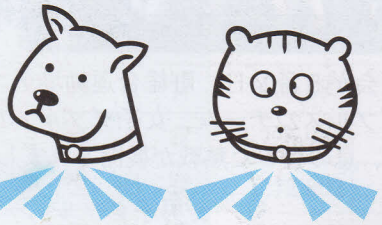
◎犬の放し飼いは絶対にしない

犬の放し飼いは県条例により禁止されています。
散歩する時も、引き綱などでつないでしまいましょう。
知らない間に他人に迷惑をかけている場合があります。
放し飼いをすると野犬と間違えられて捕獲されるときもあります。

◎捨て犬・捨て猫は絶対にしない

捨てられた犬や猫は、無惨な死を迎えるか、
「のら犬・猫」になりみんなに迷惑をかけてしまいます。
絶対に「捨て犬・猫」はしないで下さい。

◎鑑札・名札など飼い主の分かるものを犬や猫に付けましょう



●放れている犬・飼い主のいない犬にさわったり、さわろうとしてはいけません。

鑑札や注射済票は「迷子札」になります。
犬や猫の首輪に付けておきましょう。
迷い犬・迷い猫になったときなどに、発見が早くなります。

壬生町民生部保健課環境公害係　☎82－1234（内線109）

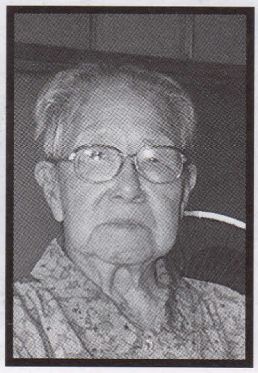
春風亭 小朝 独演会

◇日　時　9月6日(日)
　開場：午後6時
　開演：午後6時30分
◇会　場　壬生中央公民館大ホール
　（城址公園ホール）
◇入場料　2、000円（全自由席）
※入場券は、壬生中央公民館、稲葉・南犬飼出張所、財団法人壬生町施設振興公社事務所（総合公園内）で取り扱っています。
（未就学児の入場はできません）
◇主　催　財団法人壬生町施設振興公社
◇後　援　壬生町教育委員会
◇問合せ先　壬生中央公民館
☎82－0108

訂正

広報みぶ5月号4ページ、自治会連合会役員名簿中、理事　戸崎豊二さんは戸崎豊治さんの誤りですので、お詫びして訂正いたします。

おくやみ



川又ムメさん（中泉・明治31年3月27日生まれ）が、5月16日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。（享年百歳）

7月は「愛の血液助け合い運動」月間

まちのうごき

6月1日現在

総人口	40,000人	（△9）
男	19,716人	（△6）
女	20,284人	（△3）
世帯数	12,762世帯	（　2）

（　）内は前月比

7月の納税等

●固定資産税（2期）
●都市計画税（2期）
●国民健康保険税（1期及び全納）
●国民年金（7月分）
（納期限7月31日）

納期限間際は、納付窓口が大変込み合います。お早めに納付しましょう。

寄付

（社会福祉協議会）
（○数字は寄付回数）

金3万円①　青木　信也様
金50万円②　青木　信也様
金2万869円①　あるぷ　様
金2千円①　匿　名　様
金3千円⑦　おもちゃのまち友楽会婦人部様
金2千215円①　壬生中野球部OB様
金3千円①　（有）渡辺寝装様